椰子の樹

長野県ニューギニア会 会報

第32号

令和5年1月1日発行
長野県諏訪郡富士見町落合
発行人　小池博之
印　刷　杏花印刷

ポートモレスビー攻略作戦は、昭和17年7月、南海支隊がブナ・バサブアに上陸。オーエンスタンレー山脈を縦断し、ポートモレスビーに向け進撃したが補給が絶え、飢えと病に苦しみ作戦を中断して退却、攻略は失敗に終わる。

パプアの「国会議事堂」

パプアニューギニアの首都・ポートモレスビーにある国会議事堂。同国最大の公共建築で、東セピック州に伝わる「精霊の家」を模した設計で、建物正面にある大障壁画は、多様な民族の伝統美術画を集めた「プリミティブ・アート」で飾られている。

1976年に独立以来、政治・経済の中心地として急速に発展。議事堂は40年前に完成した。同市の人口は約35万人。

次世代に繋げる恒久平和への思い

会の継承が喫緊の課題

長野県ニューギニア会　会長　小池博之

皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと存じます。新しい年のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

ロシアのウクライナへの軍事侵攻の終息が見えない中、戦争の愚かさを体験しているわが国は「即停戦」へのアピールを全世界に向けて、発信する事が求められます。

さて、昨年の本会事業は、2月の定期総会の後、7月のニューギニア方面戦没者慰霊大祭は、感染対策に配慮しながら、3年ぶりに参加制限を解除して開催。多くの皆様のご参加を頂く中、厳粛に斎行されご英霊の御霊に感謝の誠を捧げました。

戦後78年が経過し、戦後生まれが国民の9割となり、戦争の記憶は風化の一途をたどる中、本会員の平均年齢は80歳の大台を超え、会の継承が喫緊の課題となっています。

会員数は昨年末に二百人を割りました。平成13年、2千6百人を数えましたが、戦後の混乱期を体験した世代は更に減少しており、本年は組織の再構築と、若い世代の育成に全力を挙げて参ります。

県遺族会員も、昨年1月の時点で9千人を割り込み、活動を次世代に継承しようと、模索を続けています。令和に入り、戦没者の孫、ひ孫、甥などでつくる「青年部」の活動に力を入れています。事務局の説明によると、現在県下で2百余名の青・壮年会員が登録して「恒久平和への語り部」として起動しています。

コロナ禍により、遺族会の活動は制約されていますが、「戦争で最愛の家族や肉親を亡くし、その痛みに耐えたのは私達遺族の皆さんです」会の存続に向け更なるご支援を頂きたく伏してお願い致します。

▽第55回通常総会　開催のお知らせ

長野県ニューギニア会の会則により、第55回通常総会を左記の通り開催いたします。

記

・日　時　令和5年2月11日（祝）午後2時から
・会　場　浅間温泉みやま荘　松本市浅間温泉3-28-6
　TEL　0263-46-1547

会員の皆様のご参加をお待ちしております。
（マスクをご用意ください）

PNGの花・鳥

カエンボク

ニューギニアの熱帯雨林に多く見られる花木で、将兵から「南洋桜」と呼ばれて親しまれた。生命力が逞しく、世界の三大花木と称される、西アフリカ原産の常緑高木。

樹高は25mくらいになる、1年を通じて釣鐘型で真紅の花を枝先に多数咲かせる。

ウエワクの海岸に咲くカエンボク
（沖合にムッシュ島を望む）

第54回 ニューギニア方面 戦没者慰霊大祭三年ぶりに斎行

長野県ニューギニア会主催、第54回ニューギニア方面戦没者慰霊大祭は、7月31日松本市の長野県護國神社において厳粛に斎行された。先の大戦においてニューギニア島およびその周辺地域で、散華したご英霊の冥福を祈った。

「嗚呼戦友の碑」前で拝礼する参加者

新型コロナ禍のため過去2年間、規模を縮小して役員のみで祭事を行ってきたが、今回は感染対策に配慮しながら遺族はじめ地元国会議員、松本市長、県遺族会代表などご来賓の参列をお願いした。

式典は午前11時、本殿において大太鼓を合図に始まり、英霊に対する黙祷、国歌演奏、修祓と続き奥谷宮司が祝詞を奏上した。続いて小池会長が神前に進み祭文を献上した。

（詳細別掲）次いで、臥雲松本市長、栗生県遺族会長らが慰霊の言葉を述べ、参加者が玉串を奉奠して大祭を終了した。

「嗚呼戦友の碑」で碑前祭 新たにインドネシア国旗掲揚

本殿での祭事に先立ち、慰霊碑前で碑前祭を行った。今回から西部ニューギニア地域との友好の証として、新たにインドネシア国旗を整え、パプア・ニューギニア旗、日章旗と一緒に碑前に掲揚した。

80年の時空を越え米国から写真が 上田市の遺族の元へ

太平洋戦争末期の激戦地だった南の島・テニアン島で、昭和19年夏に戦死した上田市出身の旧日本兵の写真が80年の時空を経て、米国から同市に住む遺族のもとに返還された。戦地で戦友と寛ぐスナップで、イリノイ州の慈善団体が米国で入手し、本会が返還活動を支援して実現した。

写真の人物は、同市上室賀出身の宮入徳重さん。松本歩兵50連隊に入隊、満州からマリアナ諸島に転戦、昭和19年7月に亡くなった。

写真を拝受した甥の宮入清人さん（85）は、「よく戻ってきた。親族も感無量であるが、大阪に住む長女に渡します」と感謝した。

50余年に渡り旧日本兵の遺留品の無償返還を手掛けてきたNPO法人・キセキ遺留品返還プロジェクトが、写真を贈った。代表のジャガード千津子さんは「遺品がご遺族に帰り、言葉に表せないほど嬉しい。写真と心の会話をしていただければ」と喜ぶ。

プロジェクトは昨年夏の米国のオークションで、長野県出身者とみられる日本兵の写真を6点入手、本会に対して、協力を依頼してきた。その内の一枚の裏に、「室賀村大字上室賀・宮入」の署名があり、特定につながった。

南の島に散った松本50連隊・宮入軍曹の遺品 USAからの奉仕事業に本会が支援

米国から本会に届いた写真は、8月3日小池会長が上田市の宮入家を訪問、甥の清人さんに手渡した。その後、大阪府富田林市にお住まいの長女・清子さんに送られた。

清子さんは「父の顔は実家の写真で確認していましたが、軍隊で戦友と一緒に寛いでいる写真は初めて、亡くなった母にも報告します」と感謝していた。

米国から帰郷した写真を受け取る甥の宮入清人さん、返還写真の右端が徳重さん

― 英霊にこたえる会 ―

『新年の靖國カレンダー』

長野県護國神社神域掲載

9・10月の欄・本会が制作に協力

「英霊の御心を次世代に伝えよう」と、英霊にこたえる会は、毎年『靖國カレンダー』を発行しているが、本年版の9・10月のページに長野県護國神社が掲載され関係者の注目を集めている。

このカレンダーは昭和54年から発行しているもので、全国の遺族会員、護國神社、公官庁などに20万部を頒布。体裁は、A3ノビ版（原寸縦50㌢×横35㌢）7面構成。靖國神社の初詣・みたま祭り風景に、長野・岐阜両護國神社境内の写真、由緒などが紹介された。

長野県護國神社の欄に関しては、英霊にこたえる会長野県本部（横田久会長）からの要請を受け、本会広報部が写真取材を含め制作を担当した。

6万4千余柱の御祭神を祀る県護國神社のページは、第2鳥居からの本殿を望む写真と共に、昭和19年10月東部ニューギニア・ソナムで戦死した富士見町出身の小池一繁命の戦歴（松本50連隊編成第76中隊・陸軍伍長）と遺書、それに長野県ニューギニア会の活動「嗚呼戦友の碑」が掲載された。

靖國カレンダーは県遺族会事務局を通じて各市町村遺族会に頒布されている。問い合わせ先は長野県本部（長野市中御所岡田、県遺族会事務局TEL026・228・0334）

海外遺骨収集事業再開 ニューギニアへ調査団派遣

コロナ禍のため、海外における戦没者の遺骨収集事業は中断されていたが、遺骨収集推進協議会は9月から10月にかけ南方4地域に対して調査を開始した。

東部ニューギニアでは、10月22日から29日にかけて現地日本大使館、PNG国立博物館と遺骨検体の採取や遺骨保管場所の確保等について協議。現地の医療体制や治安状況などを調査した。

マリアナ諸島、パラオ諸島では推定で78柱の遺骨が収容された。

堀江正夫さんを偲ぶ会

東京でお別れの会　五百人献花

お別れの会の祭壇

昨年3月に106歳で死去した堀江正夫氏（元参議院議員。戦友遺族会長）を偲ぶ会が、6月15日都内のホテルで開かれ、遺族会や政界、神社関係者約五百人が参列。当会から役員ら5名が参加した。

会場の祭壇には、コチョウランやアジサイなど花々に包まれ、微笑む堀江さんの遺影。後方には波瀾万丈の生涯を物語る品々が展示された。金鵄（きんし）勲章、旭日重光章など数々の勲章、それに陸軍士官学校、ニューギニア戦、陸上自衛隊、国会議員時代の写真や日記帳なども。

弔辞は、ジャーナリストの櫻井よしこ氏、田中和徳日パ友好連会長、防衛省・山崎幸二統合幕僚長ら6人が捧げた。

会場では、堀江さんが百歳を過ぎてからの家族との団らん、ニューギニア戦線の様子などが映像で紹介された。その中で、昭和20年8月の終戦に伴い、ニューギニアの第18軍も豪軍に降伏、調印式がウエワク・オウム岬で行われ安達軍司令官と共に、式典に臨む堀江参謀の勇姿が映し出され、参会者の注目を集めた。

戦没者慰霊大祭　祭文

本日、ここに長野県護國神社の大前において、長野県ニューギニア会主催の戦没者慰霊大祭を執り行うに当たり、本会を代表して3千四百余柱のご霊前に、謹んで祭文を奏上いたします。

顧みますと、苛烈を極めた先の大戦から既に77年の歳月が過ぎ去りました。思えば、戦没者諸霊はわが国の危急存亡の戦いに際し、最愛の家族を残しひたすら祖国の安泰と平和を願いながら、尊い命を国に捧げられました。

中でも3年半の長きに渡り凄惨を極めたニューギニア戦において、若くして散華された皆様の霊前にぬかずき、在りし日を偲ぶと、追慕の情は深く新たなる悲しみと痛恨の念を禁じ得ません。

今や、戦後生まれが国民の9割を超え、思いの風化が進む中で、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が進み、もはや戦争は対岸の火事ではなく、世界平和への道程の険しさを痛感します。感染症がいまだ終息していませんが、恒久平和実現に向けての歩みを、粘り強く続けて参ります。

令和4年7月31日　会長・小池博之

第70回長野県戦没者追悼式開催

長野県立大学生式典運営に参画

第70回の節目となる長野県戦没者追悼式は、長野市のホクト文化ホール（県民文化会館）で10月15日開催された。県内各地から戦没者遺族代表ら約440人が参列。コロナ禍に配慮した式典となった。今年は、県の呼びかけに応じ、長野県立大学の1、3年生が司会など式典の運営に携わった。

式辞で阿部守一知事は「戦争の惨禍を二度と繰り返さないという強い決意のもと、県民や国際社会と手を携え、世界の恒久平和の実現と地球規模の課題解決に向けて役割を果たす」と述べた。

また、県議会議長、県遺族会長、市長会長、町村会長がそれぞれ追悼のことばを奏上した。県遺族会の栗生勝由会長（下伊・阿南町）は「先の大戦から77年、6万5千余名の御英霊の犠牲の上に現在の平和が成り立っています。この安寧を社会全般で大切に守っていかなければなりません」その上、ロシアの理不尽なウクライナ侵攻に触れ「戦争は遠い昔の歴史の一コマではありません。今も自分たちの生活のすぐそばにあることを改めて認識し、戦争の悲惨さや平和の尊さを次の世代に語り続けていく。」と訴えた。

意見発表は、長野県立大学3年、高嶋瑚（こはく）さんによる「平和へのメッセージ」が発表された。高嶋さんは、松本市で開催された県主催の平和学集会で遺族会の存在を知り、その後鹿児島県知覧町の『知覧特攻平和記念館』を訪れ、祖国の礎となった先の大戦の犠牲者、特に今の自分たちと同年代で散った特攻隊員を思い、平和に対するメッセージで「責任を持って平和のバトンをみんなで未来に繋いでいくことを誓います」と深い感慨を込めて読み上げた。

「平和へのメッセージ」を発表する
長野県立大学3年　高嶋瑚さん

献花は、県知事、県議会議長、県遺族会長、各市郡遺族会代表、来賓が祭壇に献花した。

秋の叙勲　旭日双光章

横田　久さん

前県遺族会長　本会顧問

半世紀に渡り遺族会に携わり、平成28年から県遺族会長を務めた。本会の会長として、護國神社神域にある「鳴呼戦友の碑」の全面改修に尽力。受章に「遺族会の活動が認められ、本当に感謝している」と喜ぶ。

大戦末期の昭和19年5月、父の種次郎さんは西部ニューギニアのアルポマで戦死した。幼少時の記憶として残るのは「父が出征の際、肩車をしてもらったことだけ」と振り返る。

平成23年から2期本会の会長を務めた。「慰霊碑の全面改修、現地慰霊巡拝団の派遣、戦没者の孫やひ孫で組織する青年部の結成など、素晴らしい機会を与えてもらった」と感謝する。

ロシアのウクライナ侵攻が続く中「先の大戦を教訓として、改めて恒久平和について皆で考えてほしい」と願う。

長野市戸隠祖山、84歳

事務局から

▽本年度、新規入会された会員をご紹介いたします。

・川上　白雪様（松本市）

▽本年度の一般寄付とコロナ影響下での夏の慰霊大祭に玉串料をお寄せいただきました有難うございました。

（順不同）

・丸山　芳邦様（長野市）

・五月日輝雄様（木祖村）

・竹村　淳　様（長野市）

▽第70回長野県遺族大会（10月14日）において、本会副会長　成澤勝人さん（大町市）が、県遺族会の発展と会員の指導、育成に尽力した功績により、栄えある長野県知事表彰を授与されました。

椰子の実

★名月や池をめぐりて夜もすがら（芭蕉）。かの信長も見たとか442年ぶりの皆既月食プラス惑星食、この夜ばかりはコロナもウクライナも一休みして赤い月を眺める。次回は322年後とか人類はどんな生活になっているやら？★ポートモレスビーの国会議事堂見学、世界最大の蝶トリバネアゲハや初めて見る見事な標本の数々に往年の昆虫少年は夢中。議場の演説台に大きな砂時計があるのに感心、荷物の持込み禁止でカメラの無いのが残念だった。★日本兵の遺品返還を続けている米国の慈善団体の努力から80年ぶりに遺族のもとに遺品の写真が…戦争は終わっても戦後はこれからも続いていく。★県の戦没者追悼式で学生がメッセージを発表、戦争を知らない若い人たちにも語りかけて悲惨な戦いと慰霊の歴史が埋もれないようにしていきたい。★新年の靖國カレンダーに県護國神社掲載。6万4千柱のご祭神の在りし日を偲び恒久平和の到来を祈念したい。新型コロナは今年も姿を変えながら続きそう、飲み薬も出てくるようだ。病とうまく付き合いどうぞお元気で。（T）